

平川市のいろいろな問題など、議員が市に考えを聞くのが**一般質問**。  
議会だよりでは、質問した議員ごとに1項目を抜粋して記載しています。

## マイナンバーカードを活用した、証明書のコンビニ交付サービスの導入について

コンビニ  
交付サービスの  
可能性を問う。



みずき さとし  
水木悟志 議員

**議員** 当市では、マイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービスが導入されておらず、証明書取得が平日開庁時間や休日・夜間窓口に限られ、市民負担となつてい

る。全国では導入が進んでいるが、未導入により利便性低下や行政サービスの格差が生じているが、未導入の理由と政策的判断、ニーズの調査と利便性の評価、導入のメリット・デメリット、今後の検討と導入の可能性を問う。

**答** 未導入の理由は、多額の初期費用と維持管理費により市民の理解を得るのが難しいと過去に判断したこと、また国のDX推進に伴う標準化システム移行を見据えたためです。ニーズ調査は未実施です

が一定の需要は把握しており、市民の利便性向上につながると認識しています。メリットは利便性向上や窓口混雑緩和、デメリットは費用負担や事務の煩雑化です。導入の可能性を検討するため、課題を精査します。

**議員** 市民サービス向上と行政効率化の両面で重要である。

「誰もが「住みたい」、便利と快適を叶える地域づくり」のためにも前向きな検討を求める。



平川市議会会議録

一般質問の内容は会議録で読むことができます。

## 平川市デマンド交通「のらっさ」

運行開始から  
1年以上たった  
現状は。



か さいこうへい  
葛西厚平 議員

**議員** 令和6年12月1日より運行開始の「のらっさ」について、利用者の意見や感想は。また運行の稼働率と収支はどうか。

**答** 令和7年2月17日～3月16日の期間で紙とオンラインでアンケート調査を実施しました。満足度は76%で不満回答はありません。「予約制で便利」「直行できる」など好意的意見や、日祝・冬季の利便性を評価する声がある一方、「コールセンターがつながりにくい」「希望時間に予約困難」との指摘もありました。

稼働率は開始から1年間平均で1日43・4%。約4時間の稼働となっています。収支は支出約2,983万円に對

し運賃収入約459万円となっています。

**議員** 運転免許返納を考えると後期高齢者の料金を200円としてはどうか。

**答** 市場性や公益性、民業圧迫を考慮し利用者負担割合を設定しましたが、昨今の社会情勢では一人400円以上となりません。利用者の多くが高齢者であり、急激な負担増を避けるため現状300円としております。



## 小国切明線の道路整備について

**議員** 東部地区はシラス質土であるため、雨が降ると法面が土砂崩れを起こすおそれがある。小国切明線については、孤立しないように道路整備をしてもらいたい。

**答** 小国切明線は小国地区と切明地区を結ぶ路線で、総延長は6・2キロメートルあります。小国側から3・6キロメートルまでは舗装済みですが、その先の国有林を通る切明側への2・6キロメートルは未舗装となっております。舗装部分は辺地対策事業で平成14年度までに整備を済ませ、事業を完了しております。

未舗装部分については、大雨などの自然災害が発生した際には、速やかに路面の整

災害に強い  
平川市を望む



さいとう たけし  
齋藤 剛 議員



を行うなどの維持管理を行い、道路交通の確保に努めてまいります。

**議員** 平川市は災害に強くあってももらいたい。起債を活用するなど、東部地区が孤立することのないよう整備をお願いする。



平川市議会 YouTube チャンネル  
議会中継はこちらから。

## 平川市の衆議院議員総選挙について

**議員** 当日の各投票所は長時間かつ大勢で対応するが、近年は期日前の投票者が増え続けている。今回の期日前と当日の投票者数と共通投票所の状況は。

**答** 期日前投票者の総数は7,837人、当日の投票者数は5,196人。共通投票所で投票者数は1,429人、全23か所ある指定投票所の投票者数は3,767人です。全体の投票者数のうち約6割が期日前投票、約4割が当日の投票で、期日前投票の割合が高い状況です。

**議員** もはや本来の投票日は選挙最終日という感覚になり、投票管理者や立会人も拘束時間の割には来る人が少ないと嘆き、みんなが投票所に

真冬の  
超短期決戦となった  
2月8日投開票の  
衆議院選挙の投票状況と  
課題を問う



さとう たもつ  
佐藤 保 議員



開票作業の様子

足を向けるような工夫を望んでいる。選挙管理委員会の見解を伺う。

**答** 期日前投票の浸透により、当日の指定投票所に来られる方が少なくなっており、当日の投票時間の繰上げ、投票区や指定投票所の設定について関係する方々から意見をいただきながら、投票される方に不便を与えないようにしたいと考えています。

**議員** ぜひ早く市民の望む方向に変更をお願いする。

平川市のいろいろな問題など、議員が市に考えを聞くのが**一般質問**。  
議会だよりでは、質問した議員ごとに1項目を抜粋して記載しています。

## 平川市図書交流施設「よみまる」

管理体制を確認



さいとうりつこ  
齋藤律子 議員

**議員** 市内外に向けた集客方法について伺う。

**答** 2月16日発行のつばにわレター最終号を每户へ配布、施設の内部を紹介する施設パンフレット、市ホームページでの情報掲載、インスタグラムにより施設の情報を発信しています。

**議員** けがや事故が想定されるが、市が設置や管理の瑕疵を問わないために、施設の安全管理について伺う。

**答** おもちゃや床の抗菌加工、口に入れたおもちゃの消毒、乾燥、1日おきの入れ替えなどの衛生対策を行います。また、保護者同伴とするルールを設けて保護者の見守りにより事故を防ぎたいと考えています。



「よみまる」内部のこどもひろば

**議員** 施設敷地内駐車場や周辺道路の確保が重要であるが、雪対策は。

**答** 敷地内駐車場は、適宜除排雪を行って駐車スペースを確保し、周辺の道路は、通行に支障を来さないよう、建設課と連携して対応します。

**議員** テーブルの汚れは布巾で対応する、人工芝などの汚れは職員にお願いをするなど、表示されていることが必要と考える。



平川市議会会議録

一般質問の内容は会議録で読むことができます。

## 公共施設改修における変更契約の課題と改善提案

最初にしっかり見抜ける制度を



か さいはやと  
葛西勇人 議員

**議員** 公共施設改修において変更契約が多数発生している。この状況を市としてどのように捉え、改善に取り組むのか。

**答** 変更契約は、改修工事の特性上、壁内や配管などの不可視部分の把握に限界があることから、一定程度は避けられないものと認識しています。そのため、一級建築士が在籍する設計事務所に委託し、設計精度の向上に努めています。また、国の基準や青森県のガイドラインに基づき適正に判断し、特に変更額が概ね30%を超える場合は、当初契約との一体性や同一性が保たれているかを慎重に確認しています。さらに、所管課と建設部の連携を強化し、技

術職員の専門知識を全庁的に活用できる体制づくりを進め、変更契約の適正化に取り組んでまいります。

**議員** 最新の知見を活用した事前調査や設計段階での検討の充実、さらに組織としての技術的チェック体制の強化により、変更契約の抑制は可能であると考えます。今後も、より一層透明性の高い公共事業の推進を求めます。





## 小・中学校における各種支援員の配置

**議員** 小・中学校の各種支援員の種類と役割、人数や配置基準、課題、来年度の拡充の考えは。

**答** 支援員は7種類で、学習支援員、特別支援教育支援員、外国語教育支援員、日本語指導支援員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールサポートスタッフです。人数は学習19人、特別支援13人、外国語2人です。配置は学校規模や要望を踏まえていますが、要望と一致していないことが課題です。来年度からは中学校の学習支援員を3人、特別支援教育支援員を13人、外国語教育支援員を1人増員していきます。

配置と課題を整理



なかはた ひ ふ み  
中畑一二美 議員

**議員** 学習支援員は教員免許が必要、特別支援教育支援員は不要です。募集はハローワークで行っていますが、予定より不足が生じています。

**答** 学校現場では人員不足の状況で、増員しても解消は難しい状況です。

**議員** 増員で不足は解消されるのか。

**答** 学校現場では人員不足の状況で、増員しても解消は難しい状況です。

**議員** 特色のある施策など、魅力のある教育に力を入れてもらいたい。



◀平川市議会 YouTube チャンネル  
議会中継はこちらから。

## 平川市食産業振興センター「食ラボひらかわ」

**議員** 平川市食産業振興センター「食ラボひらかわ」は、県の施設を取得し利用を開始してから5月末で10年を迎える。県との譲渡契約による10年間の指定用途制限が終了し、食品加工以外の利用も可能となるが、今後の運営方針は決まっているのか。

**答** 施設は竣工してから27年が経過し、老朽化が著しく、近年は頻繁に修繕しています。年間利用収入約100万円に対し維持管理経費は約1,600万円。市外利用者が半数超で農業者以外も増え、農業者等が農産物を付加価値の高い加工品に自ら加工するという本来の目的から外れつつあり、幅広く平等な支援を目指す狙いとは裏腹に、

食ラボひらかわの  
今後の方針を問う



いし た あきひろ  
石田昭弘 議員



平川市食産業振興センター「食ラボひらかわ」

範囲が狭い支援となっていました。加工品を学校給食へ提供していましたが、費用面で課題があり、総合的に判断し廃止の方角で検討しています。

**議員** 廃止時期は。また、代替施設の考えはあるか。

**答** 周知期間を約1年設け、令和9年3月31日での廃止を想定しています。代替として、りんご等の地域資源を活用した食・農・観の活性化拠点整備を目指し、その機能の一つとして加工施設も挙げています。